



万里の長城(中国)

■ 巻頭言

ご挨拶

一般財団法人日本医薬情報センター 理事長 赤川 治郎 2

■ 薬剤師の現場

お薬手帳の有益性に関して

株式会社アインファーマシーズ アイン薬局釧路春採店 境 妙子 4

■ トピックス

JAPICサービスの紹介 - 医薬品情報に関するデータベース -

医薬品類似名称検索システム(新規医薬品名称検索: 有料)

② iyakuSearch / iyakuSearch Plus (医薬品情報データベース)

⑥ 医薬品類似名称検索(既存医薬品名称検索) 6

⑦ 効能効果の対応標準病名

⑧ JAPIC Daily Mail (JDM) DB

「令和3年度JAPICユーザ会」の開催について 8

■ コラム

くすりの散歩道No.142 「古き良き時代」は自分次第」

(一財)日本医薬情報センター 医薬文献情報担当 藤巻 沙織 9

■ 外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報より(抜粋) 10

■ 図書館だより No.371 11

■ 情報提供一覧 11

ご挨拶

一般財団法人日本医薬情報センター (JAPIC)
理事長

赤川 治郎 *Akagawa Haruo*



はじめに

2020年6月にJAPICの理事長に就任し、1年近くが経過しようとしていますが、JAPICの運営に関して所感を述べさせていただきたく存じます。

ご案内のとおり、JAPICは、1970年に日本製薬工業協会加盟有志25社の出捐により任意団体として設立され、1972年12月に厚生省（現厚生労働省）の認可を受け財団法人となりました。その後、公益法人改革により2012年4月に一般財団法人となり、2022年12月には創立50周年を迎えようとしています。

半世紀という大きな節目を迎えるにあたり、JAPICのこれまでの歴史と歩みを振り返りながら、今後も医薬品・医療機器製造販売企業や医療関係者等の方々にJAPICの事業を広くご利用いただくことができますよう、積極的な事業展開を推進したいと考えております。

医薬品、医療機器等を取り巻く環境は、グローバル化やIT化の急速な進展等により、著しく変化しています。特に近年の目覚ましいITの発展に伴い、2018年4月の改正GPSP省令の施行により、GPSPにリアルワールドデータを活用した製造販売後データベース調査が追加されるとともに、厚生労働省とPMDAが構築を進めてきた医療情報データベースMID-NETの本格運用が開始されました。また、2019年の医薬品医療機器等法改正においては、2020年9月から順次施行され、2021年8月には適正使用の最新情報を医療現場に速やかに提供するため、添付文書の電子的な方法による提供を基本とするなど、安全対策の充実・合理化も一層図られることとなっています。

このような状況において、JAPICの情報提供サービスについては、ユーザの皆様のニーズが多様化・複雑化してきており、さらに、グローバル企業からは、国内外規制当局の査察等に対応した質の高い迅速な情報提供や監査への対応が求められるようになってきています。

事業計画

JAPICでは、3年ごとに中期計画を定め、第七期中期3カ年計画（令和2年～4年度）では、次のとおり、事業方針および重点目標等を設定しており、医薬情報を取り巻く環境の変化に柔軟かつ適切に対応したいと考えています。令和3年度はこの中期計画の2年度目となります（前月号「令和3年度事業計画について」参照）。

《事業方針》

一般財団法人として公益目的支出計画に沿い、医薬品・医療機器等情報の収集・加工・提供を通じて医薬品等企業および医療関係者をはじめ広く社会に貢献することを目指し、次の方針に留意して事業や施策等を推進する。

1. IT環境を計画的に整備すること等により、業務の効率化及びコスト削減等を図り、財政の健全化及びガバナンスの強化に努める。
2. ユーザのニーズ等を踏まえ、サービスの質の維持・向上や新規事業の創出に取り組む。
3. 研修の充実や働き方改革等により、職員の資質・能力、意欲の向上を図る。

《重点目標等》(骨子のみ)

事業方針に基づき、以下の5点の重点目標を定め、それぞれの事業や施策等に取り組む。

1. 現事業の充実・強化

現在実施している事業については、常に改良・改善を心掛け、顧客の維持・獲得のためにユーザの声の収集に努め、更なる付加価値・サービス内容の充実等を継続して推進する。

 - (1) 添付文書情報提供事業
(公益目的支出計画実施対象事業:継続事業1)
 - (2) 薬事関連情報提供事業
(公益目的支出計画実施対象事業:継続事業2)
 - (3) 医薬文献情報提供事業
(その他の主要な事業)
2. 新規事業創出に向けた取り組み

ユーザのニーズ等を踏まえ、新規事業の創出に取り組む。
3. 運営基盤の強化
 - (1) 会員等の拡充
 - (2) 業務・システム最適化の推進
4. 組織・人員体制の強化
 - (1) 機動的な組織と弾力的な人員配置
 - (2) 計画的な人材育成と確保
5. 公益目的支出計画に基づく執行

新たな展開

公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団が令和3年3月末日をもって解散し、令和3年4月からJAPICで事業を承継することとなった動物実験実施施設外部検証・認証事業については、「動物の愛護及び管理に関する法律」ならびに「厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等に関する基本指針」等に基づき、動物実験実施施設機関における動物実験等の実施に関して、動物実験等の自主管理の促進と共に動物愛護の観点に配慮しつつ、科学的観点に基づく適正な動物実験等が実施されているかを書面ならびに実地調査にて外部評価・認証する事業ですが、その運営について遺漏のないよう万全を期して実施してまいります。

さらに、近年の台風等被害を想定した公共交通機関の計画運休が行われるなど、BCP (Business Continuity Plan) への実対応事業の発生に端を発し、昨年からの新型コロナウイルス感染防止対策としてのテレワークを実施し、ユーザの皆様からの受託業務を含め事業継続を確実なものとする必要があることから、ハード・ソフト両面において、テレワークとオフィスワークを組み合わせたハイブリッドワーク環境の整備に努

め、非常事態が発生しても事業が継続できるよう取り組みたいと考えております。

JAPICの財政運営についてですが、現在も多くの公益的事業を行っており、会費収入は不可欠ですが、時代の変遷により、会費に依存した運営には限界が生じてきたことから、事業の拡大等により事業収入割合を高めることに努めたいと考えています。昨年度はコロナ禍で学会情報の減少により医薬文献情報提供事業が影響を受けたもののそれ以外は概ね順調に推移しており、コロナ禍や薬価改定等で厳しい企業経営状況の下、会員の皆様の負担を少しでも軽減するため、令和3年度より特に会費負担額が大きく、会員数が減少傾向または横ばい状態にある維持会員の会費を減額し、会費への依存度の軽減を図ります。

おわりに

JAPICは、医薬関係者の皆様の多様なニーズを的確に踏まえ、正確な情報をタイムリーかつ適切に提供するため日々業務の質の向上に努め、皆様のお役に立てるよう努力をしまっている所存です。

今後とも、皆様からのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

薬剤師の現場

お薬手帳の有益性に関して

株式会社アインファーマシーズ
アイン薬局釧路春採店
境 妙子 Sakai Taeko



1. お薬手帳の役割について

厚生労働省からの通知によると、お薬手帳の意義及び役割は、以下の2点とされています。

- 1) 利用者自身が、自分の服用している医薬品について把握するとともに正しく理解し、服用した時に気付いた副作用や薬の効果等の体の変化や服用したかどうか等を記録することで、医薬品に対する意識を高めること。
- 2) 複数の医療機関を受診する際及び薬局にて調剤を行う際に、利用者がそれぞれの医療機関の医師及び薬局の薬剤師等にお薬手帳を提示することにより、相互作用や重複投与を防ぎ、医薬品のより安全で有効な薬物療法につなげること。

特に、上記2)に示されているように、私たち薬局薬剤師がかりつけ機能を発揮して服薬一元管理を実施する際には、お薬手帳の情報は大変有用です。したがって、患者さまにはお薬手帳の意義をしっかりと説明し、医療機関や保険薬局へ行った際は、毎回、医師・薬剤師にお薬手帳を提示していただくようお願いしています。

2. 災害時の有用性について

お薬手帳は平常時だけでなく、災害発生時にも有用性を発揮します。以下に私が経験した2つの事例を紹介いたします。

a) 北海道胆振東部地震

2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、発生後に北海道全域が停電に見舞われました。私が勤務する保険薬局や主応需先医療機関も例外ではなく、停電により電子薬歴やカルテを見ることが出来なくなりました。検査も実施できず、外来も休診となりましたが、手元に薬がなくなった患者さまが来院された際、お薬手帳やそれに準ずるもの(薬情)を提示できた場合のみ数日分だけ処方されることになりました。残念ながら、お薬手帳等を提示できなかった

患者さまについては、本人の詳細説明だけでは薬の確定ができず健康被害につながりかねないとの判断から、遠方の医療機関を受診することとなりました。

災害時に遠方の医療機関を受診することは、大変な苦勞を伴ったことと思われます。災害はいつ発生するか予測できませんので、私はこの経験から、今まで以上にお薬手帳を常備することの重要性を感じました。しかし、2017年に当社グループがさいたま市内で運営する保険薬局5店舗において実施した30歳以上の糖尿病、緑内障患者90名を対象とした調査では、災害時にお薬手帳が役立つことは67.8%に認識されているにもかかわらず、お薬手帳を常時携帯している割合は18.9%に過ぎないことがわかりました(第11回日本薬局学会学術総会にて報告)。今回報告したように、災害時に患者情報が不足して適切な薬物治療の継続が困難になる恐れがあるため、災害時に限らず日常生活でもお薬手帳を常時携帯していただくことが必要と考えます。そのためにも、常時携帯することにメリットが感じられるように、併用薬以外に副作用歴やアレルギー体質といった「私の情報欄」への記載の充実化や検査値一覧を貼付するなど手帳の活用方法を積極的に提案していく必要性を感じました。また同時に、電子お薬手帳の有用性についても強く感じました。

総務省の令和2年情報通信白書によると、2019年の世帯におけるスマートフォン保有割合が8割を超えています。荷物を持たずに外出する際でもスマートフォンは携帯する人が多いことは明らかであり、災害発生時にも携帯している人が多いことが容易に予想できます。実際に、地震直後に気が動転していた私も、貴重品などはそのままにして、スマートフォンを持って屋外へ避難したことを覚えています。このスマートフォンにお薬情報が格納されている電子お薬手帳は、災害対策として大変有用と考えます。電子お薬手帳

の普及にも、今まで以上に努めていきたいと感じました。

b) 新型コロナウイルス感染症

2020年3月頃から現在に至るまで猛威を振っている新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で、かかりつけの医療機関への直接受診をためらう患者さまが2020年4月10日の厚生労働省発表により時限的にオンライン診療や電話診療を実施している別の医療機関を受診するケースも発生しました。別の医療機関の採用医薬品の関係から、処方された薬が今までと異なるメーカーのものとなることもあり、不安を感じる患者さまもいました。そのような際の変更点の説明にも、お薬手帳は有用でした。患者さまとお薬手帳と一緒に確認したことで、安心して服用できるとの感謝の言葉をいただくこともありました。

3. 情報共有ツールとしてのお薬手帳

2020年の内閣の世論調査によると、お薬手帳を利用している人は71.1%であり、利用している理由は「服用している薬について薬剤師に飲み合わせなどを確認してもらうため」が56.9%と最も多い状況です。もちろん、お薬手帳の主な役割はその通りですが、「単なる服用薬の記録帳」との誤認識があることも否めません。

お薬手帳は、患者さまと医療関係者の情報共有ツールでもあります。次回受診、次回来局までに発生したイベントや体調変化、その時の気持ちなどを記載していただくことで、安全かつ有効な薬物治療の実現に有益な情報を医療関係者と共有することができます。また、口頭では伝えにくいことを記載していただくことで、患者さまと医療関係者との連絡帳的役割を果たし、良好なコミュニケーションを実現することもできます。珍しい例ですが、日本語が読めない外国籍の患者さまに対して、お薬手帳の日本語記載の横に薬品名や用法用量を母国語で記載し、服薬指導時の注意事項を患者さまに記入していただくことで、安心して正確に服用していただくことができたという経験もありました。

また、お薬手帳は、医療関係者同士の情報共有ツールでもあります。例えば、安全な薬物治療の実現に向けて、医療機関が患者の状態を表すシール等をお薬手帳に貼り、保険薬局と連携を図るケースなどが全国的に実施されています。私の勤務する保険薬局が所在する釧路地域でも、医療機関と保険薬局間の情報共有ツールとして慢性腎臓

病(CKD)シールが用いられています。推算糸球体濾過量(eGFR)が45未満の患者さまのお薬手帳に医師がCKDシールを貼り、保険薬局に対して腎機能不全による用量調整の注意喚起を促しています(シールを貼付するeGFR基準値は地域差があります)。実際に、お薬手帳に貼られたCKDシールによって、禁煙外来で処方されていたバレニクリン酒石酸塩の用量調整が実施された事例もありました。

4. まとめ

お薬手帳は、平常時は勿論のこと、災害時に安全な薬物治療を継続するためにはなくてはならないものだと考えています。また、患者さまと医療関係者、医療関係者同士の情報共有ツールとして大変有用であり、私たち薬局薬剤師が薬物治療の安全性を担保する役割を果たすためにも、さらなる普及と有効利用の啓発に努めていきたいと思えます。



— 医薬品情報に関するデータベース —

医薬品類似名称検索システム(新規医薬品名称検索：有料)

■「医薬品類似名称検索システム」とは

医薬品類似名称検索システムとは、医療用医薬品（以後、医薬品）を対象に、医薬品の名称類似性により生じる製品取り違い防止の手段として開発、2008年3月にリリースしたシステムです。JAPICでは本システムの運用およびメンテナンスを行っています。

検索対象の医薬品名称データは、医薬品販売名を基に作成し、新薬承認後に更新しています。

新規名称を含む任意の医薬品名称と既存医薬品名称の類似性を検索する新規医薬品名称検索と、既に承認された医薬品名称相互の類似性を検索する既存医薬品名称検索があります。

■医薬品類似名称検索（新規医薬品名称検索：有料）

新規医薬品名称検索は、新規に承認申請される医薬品の名称が既存の医薬品名称と類似したものにならないよう、既存の医薬品名称との類似性を確認する有料サービスです。新規医薬品名称検索の検索結果には、薬効分類名、製造販売業者名等の付加情報をリンクしています。

検索方法には、お客様ご自身でお調べいただくセルフ検索と、JAPICがお客様の代わりにお調べする代行検索の2種類があります。

本サービスのご利用は、国内に日本法人をもつ組織で、原則、承認申請をされる製薬企業を対象としております。

● セルフ検索 ご利用の流れ

お客様ご自身で直接お調べいただくセルフ検索をご利用の際は、以下の要領でお申込みください。

STEP 1 「類似名称検索システム 新規医薬品名称検索申込フォーム」へアクセスし、必要事項をご記入の上、お申込みください。
(URL: <https://www.ruijimeisho.jp/Registration.aspx>)。 ※ご利用予定の前週木曜日までのお申込みをお願いしております。

STEP 2 JAPICにて利用者登録を行い、登録内容を確認した後、有効期間を設定したパスワードを発行いたします。

STEP 3 パスワード交付時にお送りするURLから検索システムにアクセスし、検索してください。

*パスワードは月曜日から金曜日までの5日間有効です。有効期間中は何回でもご利用可能ですが、ひとつのパスワードでアクセスすることができる方はお一人です。同じパスワードを使って複数台のパソコンから同時にアクセスすることはできませんので、ご注意ください。

〈問い合わせ先〉 事務局 渉外担当 Email : similar@japic.or.jp

● 代行検索 ご利用の流れ

JAPICがお客様の代わりにお調べする代行検索をご利用の際は、以下の要領でお申込みください。また、代行検索では「新規承認医薬品類似回避フローチャート」(H17.10.17 厚生労働省 事務連絡)の追跡結果を検索結果に追加する「付帯サービス」もご利用いただけます。

STEP 1 Email : ruiji@japic.or.jp まで、メールでお問い合わせください。

STEP 2 代行検索申込用紙をお送りいたしますので、必要事項をご記入の上、ご返送ください。

STEP 3 JAPICにて検索を行い、原則、お申込み後1週間以内に検索結果をカンマ区切りテキストデータで納品いたします。

代行検索結果（付帯サービスなし）

	A	B	C	D	E	F	G
1	名称	edit	cost	htoo	slen	head	tail
2	シルテック	2	0.6	0.75	0	1	2
3	チャンピックス	3	0.68	0	2	0	0
4	ジクロニック	3	0.63	0.75	1	1	2
5	パビロック	3	0.6	0.5	0	0	2
6	ピアテック	3	0.6	0.5	0	0	2
7	ピナロック	3	0.6	0.5	0	0	2
8	ピロニック	3	0.6	0.5	0	0	2
9	メジテック	3	0.6	0.5	0	0	2
10	メジヤピン	3	0.6	0	0	0	0

代行検索結果（付帯サービスあり）

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	名称	edit	cost	htoo	slen	head	tail	判定
2	シルテック	2	0.6	0.75	0	1	2	医薬不要
3	チャンピックス	3	0.68	0	2	0	0	医薬不要
4	ジクロニック	3	0.63	0.75	1	1	2	医薬不要
5	パビロック	3	0.6	0.5	0	0	2	医薬不要
6	ピアテック	3	0.6	0.5	0	0	2	医薬不要
7	ピナロック	3	0.6	0.5	0	0	2	医薬不要
8	ピロニック	3	0.6	0.5	0	0	2	医薬不要
9	メジテック	3	0.6	0.5	0	0	2	医薬不要
10	メジヤピン	3	0.6	0	0	0	0	医薬不要

〈問い合わせ先〉 事業部門 添付文書情報担当 Email : ruiji@japic.or.jp

本システムでの検索結果や医薬品名称の類似性を評価する指標に関するお問い合わせには、回答することができませんので、あらかじめご了承ください。また、よくある質問をFAQとしてまとめております。お問い合わせいただく前に一度ご覧ください。
URL: <https://www.ruijimeisho.jp/Faq/Question1.aspx>

— 医薬品情報に関するデータベース —

2 iyakuSearch/iyakuSearch Plus (医薬品情報データベース) ※各コンテンツを順次ご紹介いたします。

6 医薬品類似名称検索 (既存医薬品名称検索) **随時更新**

医療用医薬品について、既存医薬品名称同士の類似性を客観的な指標で調べることができます。

● 検索機能

既存医薬品名称とそれ以外の医薬品名称の類似性、二つの既存医薬品名称相互の類似性

※任意の名称と既存医薬品名称との類似性検索はできません。

承認申請を予定している新規の名称と既存医薬品名称との類似性については、新規医薬品名称検索をご利用ください。

特長 医療安全における医薬品関連事故防止のため、医療関係者・製造販売業者等が、医薬品名称の類似性によって起こる製品取り違い事故を防止する手段の一つとして開発されました。例えば、医療関係者の方が院内採用薬の選定の際に、採用予定医薬品名と既存の採用薬の名称との類似性を確認する等の目的に利用することができます。

トップ画面



検索画面



検索結果画面



7 効能効果の対応標準病名 **毎月更新** **要ユーザ登録**

医療用医薬品添付文書の効能効果に対応する標準病名を関連付け、相互に検索できます。医療のIT化を推進している内閣府や厚生労働省の戦略の一助となるよう広く一般に無料公開しています。

- 医療用医薬品、約 22,500 品目の効能効果に対応する ICD10 対応標準病名 (約 17,000) を関連付け
- 標準病名は同義・慣用病名からも検索可能 (採用同義・慣用病名約 36,000、合計約 53,000 病名)
- 専門医師、薬剤師の評価により対応病名の妥当性を評価
- 標準病名 ⇄ 医薬品の相互検索が可能
- インターネットから検索、表示
- 主要な情報を網羅 (商品名、一般名、規格単位、会社名、薬効番号、効能効果、標準病名、ICD10、評価)

● ご利用の流れ

ご利用にはユーザ登録が必要です (無料)

STEP 1 iyakuSearch の「効能効果の対応標準病名」からアクセスしてください

STEP 2 「効能効果の対応標準病名」トップページ右下の [初めてのご利用 (ご利用登録)] からお申し込みください

STEP 3 発行したパスワードでログインの上、ご利用ください

※「商品名」の他、「一般名」、「病名」、「薬効分類」、「ICD10」等から検索することができます。添付文書の「効能効果」と対応する「標準病名」の結び付けは、JAPIC が専門家による妥当性の評価を受けて独自に作成したものです。



— 医薬品情報に関するデータベース —

2 iyakuSearch/iyakuSearch Plus (医薬品情報データベース) ※各コンテンツを順次ご紹介します。

8 JAPIC Daily Mail (JDM) DB **毎日更新**

医薬品・医療機器等の安全性に関する海外規制措置情報を提供する JAPIC Daily Mail (JDM) のデータベース版

JDMで毎日送信する本送信メールの内容(送信とほぼ同時にデータベースに収録)を提供します。該当原文の保存を行っており、JDMでお知らせした時点での文書をご覧いただけます。「プレ送信」より当日配信された JDM プレ送信メールの内容が閲覧可能です。

● **ご登録・ご利用は無料**

JDM サービスをご利用の方および JAPIC 会員で JDM ご利用企業・機関に所属の方は、無料で検索・閲覧することが可能です(利用登録による ID およびパスワードの入手が必要となります)。

● **情報源**

2004年1月以降の JDM 本送信メールの内容

● **検索項目**

キーワードによる中間一致検索のほか、情報の発信国や情報種別(医薬品、医療機器、感染症、その他から複数選択可能)による絞り込み検索、該当原文の文書内検索が可能。



TOPICS トピックス

「令和3年度JAPICユーザ会」の開催について

前月号において、Webにて開催の旨ご案内いたしました「JAPICユーザ会」でございますが、今年度は新たな試みとして、JAPICのサービス毎にそれぞれ日程を分け、順次開催させて頂く運びとなりました。

日程を分けることで、各サービスのより詳細な内容をご説明させて頂くと共に、質疑応答等にてユーザー様とのコミュニケーションの充実を図りたいと考えております。

各サービスの開催日程や内容等、詳細につきましては、決まり次第、各サービスユーザー様へご案内いたしますのでご確認ください。

くすりの散歩道

no.142



“古き良き時代”は自分次第

(一財)日本医薬情報センター 医薬文献情報担当

藤巻 沙織 Fujimaki Saori

気温も上がり、梅雨の時期となって参りました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。最近では外出もしくなってしまう上に、外がムシムシしているとますます億劫になって、私は家で過ごすことが多くなってしまいがちです。

最近はそのないうち時間のお供に、映画をよく観ます。映画は大半がフィクションですが、作品によっては問題提起や社会風刺をすることで、観る側にメッセージを伝えているものも多くあると思います。そのメッセージを読み解いたり、後でレビューを読んで他の人はどう思ったのかな、なんて考えたりするのも楽しみの1つだと思っています。今回は私が観たものの中で特に、「考えさせられたなあ」と思う作品があったので皆様にご紹介させていただきたいと思います。タイトルは『ミッドナイト・イン・パリ』*です。

パリに婚約者と旅行に来たギル(主人公)は、ある晩街を1人で散歩をしていると道に迷ってしまいます。やがて24時の鐘が鳴ると、1台の車が目の前に止まります。乗っていた人々に促されてその車に乗り込み、辿り着いたのはアーネスト・ヘミングウェイやパブロ・ピカソ、サルバドール・ダリが生きる世界。彼は自身が憧れる1920年代のパリにタイムスリップしたことに気づきます。現代と1920年代の世界を毎晩行き来するうちに、ピカソの愛人・アドリアナと知り合います。ギルが1920年代に憧れを持っていたように、アドリアナもまた1890年代のベル・エポックの時代に憧れていました。そしてひよんなことからアドリアナとともに1890年代のパリにタイムスリップしたギルは……

もしこの映画を一言で表すとすると主人公がタイムスリップして恋に落ちる話、となりますが、私はこの映画のメインテーマは「懐古主義への問題提起」だと思っています。主人公が過去で出会う人々は皆、自身が憧れる時代に対して口々に「あの頃が黄金時代だった」と言います。でもきっと私を含め、多くの人が似たような思いを抱いたことはあるのではないのでしょうか。ついつい「あんな時代に生まれたかったな」とか「あの頃が一番良かった」なんて

思ったり、日常で小さな不満や後悔を感じてしまったり。それは仕方ないことではありますが、今の生きている毎日の、この時代の素晴らしさから目を背ける結果になってしまうのではないかと。そう考えが変わるきっかけになったセリフがあります。

「もしこの時代に残ったとしてもここがすぐに現在になる、すぐに他の時代を黄金時代って感じるようになる。それが現在なんだ。現在には不満を感じるものなんだよ、だって人生って不満を感じるものだから」

このセリフは私の心にぐっと刺さったと同時に、今までの自分の考えを変えて前向きにさせてくれました。ひょっとしたらみんな頭の中ではわかってはいても、実際に考えを変えたり行動したりするのはなかなか難しいかもしれません。でも、ほんの少しだけ意識改革したら毎日のもっと楽しいものになるかも。未来の人から見て、「あの時代はよかった」と思ってもらえるそんな“時代”を作れるのは今生きている私たちの心がけ次第なのかも。そんな風に思える人になれば素敵だなと感じ、気持ちが明るくなった作品でした。

現在コロナ禍で先行き不透明な中、少しでも皆様の不安や寂しさが少なくなって気持ちが晴れたり軽くなるきっかけになればと思います、この映画をご紹介します。パリの街並みもすごく綺麗な映画なので、ご興味ありましたら是非ご覧ください。

いつかまた“今”を振り返って、「あんな時代もあったね」なんて笑いあえる日常が早く戻ってきますように。

(出典)

*『ミッドナイト・イン・パリ』(Midnight in Paris) ウディ・アレン監督 (スペイン・アメリカ), 2011年

外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より－(抜粋)

2021年4月1日～4月30日分のJAPIC WEEKLY NEWS (No.796-800) の記事から抜粋

■米FDA

- 米FDA, Shingrixの処方情報に、ギラン・バレー症候群 (GBS) に関する警告を追加するよう要請
<<https://www.fda.gov/vaccines-blood-biologics/safety-availability-biologics/fda-requires-warning-about-guillain-barre-syndrome-gbs-be-included-prescribing-information-shingrix>>
- FDA Drug Safety Communication: 研究により、心疾患患者において、発作とメンタルヘルス薬lamotrigine (Lamictal) による心調律障害のリスクが高いことが示される
<<https://www.fda.gov/media/147183/download>>

■カナダHealth Canada

- Summary Safety Review: acetazolamideを含む利尿薬－特定の眼障害の潜在的リスクの評価
<<https://hpr-rps.hres.ca/reg-content/summary-safety-review-detail.php?lang=en&linkID=SSR00261>>
- Summary Safety Review: AstraZenecaおよびCOVISHIELD COVID-19ワクチン－血小板減少症を伴う血栓症の潜在的リスクの評価
<<https://hpr-rps.hres.ca/reg-content/summary-safety-review-detail.php?lang=en&linkID=SSR00265>>

■EU・EMA

- Direct healthcare professional communication (DHPC): Strimvelis (ヒトアデノシンデアミナーゼ (ADA) cDNA配列をコードするレトロウイルスベクターで形質導入したCD34+細胞を含む自己CD34+濃縮細胞区画): 1例目の挿入による腫瘍形成後のリンパ性T細胞白血病症例
<https://www.ema.europa.eu/documents/dhpc/direct-healthcare-professional-communication-dhpc-strimvelis-first-case-lymphoid-t-cell-leukaemia_en.pdf>
- Direct healthcare professional communication (DHPC): Xeljanz (tofacitinib): TNF-α阻害薬と比較してtofacitinibの使用に伴う重大な心血管イベントおよび悪性腫瘍(非黒色腫皮膚癌[NMSC]を除く)のリスク上昇に関する臨床試験の初期結果, 活性成分: tofacitinib citrate
<https://www.ema.europa.eu/documents/dhpc/direct-healthcare-professional-communication-dhpc-xeljanz-tofacitinib-initial-clinical-trial-results_en.pdf>
- Direct healthcare professional communication (DHPC): COVID-19 Vaccine AstraZeneca: 血小板減少症と凝固障害のリスク, 活性成分: Chimpanzee Adenovirus encoding the SARS CoV 2 Spike glycoprotein (ChAdOx1-S)
<https://www.ema.europa.eu/documents/dhpc/direct-healthcare-professional-communication-dhpc-covid-19-vaccine-astrazeneca-risk-thrombocytopenia_en.pdf>
- Direct healthcare professional communication (DHPC): Tecentriq (atezolizumab): 重度の皮膚有害反応 (SCAR) のリスク
<https://www.ema.europa.eu/en/documents/dhpc/direct-healthcare-professional-communication-dhpc-tecentriq-atezolizumab-risk-severe-cutaneous_en.pdf>
- News and press releases: COVID-19 Vaccine Janssen: EMA, 血小板低値を伴う特殊な血栓の非常に稀な症例と関連する可能性を見出す
<<https://www.ema.europa.eu/en/news/covid-19-vaccine-janssen-ema-finds-possible-link-very-rare-cases-unusual-blood-clots-low-blood>>

■英MHRA

- bendamustine (Levact): 非黒色腫皮膚癌および進行性多巣性脳症 (PML) のリスク上昇
<<https://www.gov.uk/drug-safety-update/bendamustine-levact-increased-risk-of-non-melanoma-skin-cancer-and-progressive-multifocal-encephalopathy-pml>>

■ニュージーランド Medsafe

- 更新情報－bupropionによる乾癬増悪のリスクの可能性
<<https://www.medsafe.govt.nz/safety/Alerts/PsoriasisWithBupropion.asp>>

■医薬品医療機器総合機構

- 医薬品に関する評価中のリスク等の情報について: 小柴胡湯加桔梗石膏
<<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/calling-attention/risk-communications/0001.html>>

JAPIC事業部門 医薬文献情報 (海外) 担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail (有料) もしくはJAPIC WEEKLY NEWS (無料) のサービスをご利用ください (JAPICホームページのサービス紹介: <<https://www.japic.or.jp/service/>> 参照)。JAPIC WEEKLY NEWSサービス提供をご希望の医療機関・大学の方は、事務局 渉外担当 (TEL 0120-181-276) までご連絡ください。

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。

この情報は附属図書館の蔵書検索 (<https://www.japic.or.jp/iyaku/index.html>) の図書新着案内でもご覧いただけます。

これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。

閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越しください。

〈配列は洋書、和書別に書名のアルファベット順、五十音順〉

書名	著者	出版者	出版年月
CPS 2021:Drug Information	Canadian Pharmacists Association	Canadian Pharmacists Association	2021年
MIMS New Ethicals JAN-JUN 2021 Issue 34	Leilani Au ed.	MIMS(NZ) Ltd.	2021年
関節リウマチ診療ガイドライン2020	一般社団法人日本リウマチ学会 編	株式会社診断と治療社	2021年4月
適応・用法付 薬効別薬価基準 保険薬事典 Plus+ 令和3年4月版	薬業研究会 編	株式会社じほう	2021年3月
薬事ハンドブック 2021 薬事行政・業界の最新動向と展望	—	株式会社じほう	2021年3月

情報提供一覧

2021年5月1日～5月31日提供

出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合はJAPIC 事務局 渉外担当 (TEL 03-5466-1812) までお知らせください。

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新日
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free	https://database.japic.or.jp/
1. 「一般用医薬品 (経済課コード)」 2021年4月分 (HP定期更新情報掲載)	5月 1日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. 「JAPIC NEWS」 No.445 2021年6月号	5月31日	2. 学会演題情報	月 1 回
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (郵送、電子メール等で提供)		3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
1. 「JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報」	毎 週	4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
2. 「医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)」	毎 週	5. 臨床試験情報	随 時
3. 「JAPIC-Q Plusサービス」	月 1 回	6. 日本の新薬	随 時
4. 「JAPIC-Q 医療機器情報サービス」	月 2 回	7. 学会開催情報	月 2 回
5. 「外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)」	毎 日	8. 医薬品類似名称検索	随 時
6. 「JAPIC Weekly News」	毎 週	9. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
7. 「感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)」	毎 週	〈iyakuSearchPlus〉	https://database.japic.or.jp/
		1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
		2. 学会演題情報プラス	月 1 回
		3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日

外部機関から提供しているJAPICデータベース

〈株式会社ジー・サーチJDreamⅢから提供〉 <https://jdream3.com/>

〈株式会社日本経済新聞社から提供〉 <https://telecom.nikkei.co.jp/>



赤ジャピ45年の伝統を守り
薬剤師を中心とした
専門のスタッフが丁寧に作成しています。

2021年9月
発刊予定



本書の特長

- ◆2021年6月後発品まで収載
- ◆約45年の編集実績による信頼と使いやすさ
- ◆国内流通全医薬品の最新で正確な添付文書情報をお届けします！
- ◆「薬剤識別コード一覧」を収載
- ◆更新情報メールの無料提供（要登録）
- ◆CD-ROM付
- ◆分冊にて製作（ケース入り）

Windows版

CD-ROM収録内容

- 医療用医薬品集
- 一般用医薬品集
- 薬剤識別コード一覧
- 薬価情報
- 後発品の全情報
- 添加物情報
- 最新添付文書画像(PDF)の表示機能付

要インターネット接続。医療用医薬品は週1回、一般用医薬品は月1回更新

14,300円(税込) B5判 約4,200頁(本文)

一般財団法人 日本医薬情報センター **JAPIC** 編集・発行
丸善出版株式会社 発売

上記書籍の他、電子カルテやオーダーリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データおよび病名データ)の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC (TEL 0120-181-276) まで。



このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

ざくろ

石榴と書く。学名:Punica granatum L. 英語名:pomegranate. ざくろ科ざくろ属。落葉性小高木。西南アジア原産。世界各地で古くから植えられ、日本へは10~11世紀頃に渡来。国内では東北地方から沖縄で植栽。6月頃赤い花を付け、果実は10~11月に赤く熟し果皮が裂け中に多くの種子が入っている。葉にはフラボノ系Apigenin(抗酸化作用)等含有。(hy)



JAPICホームページより
<https://www.japic.or.jp/>

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。